

ソフトウェアマニュアル

for Linux

対応機種

- **TSP100 Series**
- **TSP650 Series**
- **TSP650II Series**
- **TSP700II Series**
- **TSP800II Series**
- **TSP1000 Series**

本書中に登場する会社名や商品名は、一般に各社の商標または登録商標です。

目次

1. インストール/アンインストール	2
1.1 ドライバのインストール	2
1.2 プリンターの登録.....	4
2. プリンター機能の設定	15
2.1 機能一覧.....	17
3. イーサネット環境を使用する際のガイドライン.....	24
3.1 仮 IP アドレス設定	24
3.2 IP アドレス設定 << TELNET Utility >>.....	25
4. lpr コマンドで使用する際のガイドライン	27
4.1 機能対応一覧.....	28
5. 動作確認環境	30
6. 改訂履歴	31

はじめに

このマニュアルは、Fedora 9 を例にして CUPS プリンタドライバの操作方法を説明しています。Fedora の他のバージョンや他のディストリビューションでは、掲載している画像に違いがありますが、同様の手順で操作が可能です。

このドライバを使用して、LAN 対応のプリンターをご使用いただくには、あらかじめプリンターへの IP アドレスの設定が必要となります。ご使用の LAN 環境において、DHCP サーバーからの IP アドレスの取得が行えない場合には、事前にプリンターへの IP アドレスの設定を行ってください。プリンターの IP アドレス設定方法につきましては、「3. イーサネット環境を使用する際のガイドライン」をご参照ください。

動作環境

Distribution	Version	
	USB, Parallel, Ethernet	Bluetooth モデル
Red Hat Enterprise Linuxb 32bit	6.6	6.6
CentOS 32bit	6.6	6.6
openSUSE 32bit	13.2*	13.1 以前
Fedora 32bit	20*	17 以前
ubuntu 32bit	14.04 LTS*	12.04 LTS 以前または 14.10

* Bluetooth プリンターは対応していません。

Bluetooth モデルに対応する OS バージョンをご使用ください。

1. インストール / アンインストール

1.1 ドライバのインストール

以下の手順に従って、ドライバをインストールしてください。

注記：ドライバをインストールする前にインターフェイスケーブルをプリンターに接続して電源を入れてください。インターフェイスケーブルの接続方法はハードウェアマニュアルを参照してください。既に古いバージョンがインストールされていると、新しいバージョンがインストールできない場合があります。その場合は新しいバージョンをインストールする前に、1.3 章を参照して古いバージョンをアンインストールしてください。

- ① コマンド入力をするため、ターミナルウィンドウを開きます。
- ② su コマンドを使用して、一時的に管理者権限になってください。
\$ su

- ③ "starcupsdrv-x.xx.x_linux_yyyymmdd.tar.gz" を解凍します。

注記：ファイル名中の「x.x.x-x」は、モジュールのバージョンです。
「yyymmdd」は、ドライバリリース日を表わす 8 桁の数字です。

- ④ 解凍してできた rpm パッケージのファイル "starcupsdrv-x.x.x-x.i386.rpm" のあるディレクトリに移ります。
- ⑤ rpm コマンド (オプション -i -v 指定) を実行してパッケージをインストールします。
rpm -iv starcupsdrv-x.x.x-x.i386.rpm

インストールを開始します。



```
group2@localhost:~/downloads
[group2@localhost ~]$ su
パスワード:
[root@localhost group2]# cd downloads/
[root@localhost downloads]# rpm -iv starcupsdrv-x.x.x-x.i386.rpm
パッケージインストールの準備中...
starcupsdrv-x.x.x-x.i386.rpm
cups を停止中: [ OK ]
cups を起動中: [ OK ]
[root@localhost downloads]#
```

Bluetooth インターフェイスをご使用の場合

以下のパッケージをインストールしてください。

"bluez-cups"

管理者権限になって、ターミナル・ウィンドウから以下のコマンドを実行します。

yum install bluez-cups

◆ Debian GNU / Linux, ubuntu でのインストール手順

ソースコードからのインストールが必要です。

必要なパッケージ

- "gcc"
- "libcups2-dev"
- "libcupsimage2-dev"
- "bluez-cups" (Bluetooth インターフェイスを使用する場合)

インストール作業はインターネット経由で行いますので、以下の作業はインターネットに接続されているシステム環境で操作してください。

インストールは、以下のように行ってください。

```
$ su -  
(su コマンドを使用して、一時的に管理者権限になってください)  
# apt-get update  
# apt-get install gcc  
# apt-get install libcupsimage2-dev  
# apt-get install libcups2-dev  
  
Bluetooth インターフェイスを使用する場合  
# apt-get install bluez-cups
```

ubuntu では su で管理者ユーザになることはできません。
各コマンドの頭に "sudo " コマンドを入力してください。

例)
\$ sudo apt-get install gcc

starcupsdrv-x.xx.x_linux_yyyymmdd.tar.gz ファイルを PC にコピーした後、以下の操作をしてください。

```
# tar xzvf starcupsdrv-x.xx.x_linux_yyyymmdd.tar.gz  
# cd starcupsdrv-x.xx.x_linux  
# cd SourceCode  
# tar xzvf starcupsdrv-src-x.xx.x.tar.gz  
# cd starcupsdrv  
# make  
# make install
```

注記：ファイル名中の「x.x.x-x」は、モジュールのバージョンです。
「yyymmdd」は、ドライバリリース日を表わす 8 桁の数字です。

次に「1.2 プリンターの登録」を参照して CUPS 管理画面 (<http://localhost:631/admin>) よりプリンターの登録を行ってください。

1.2 プリンターの登録

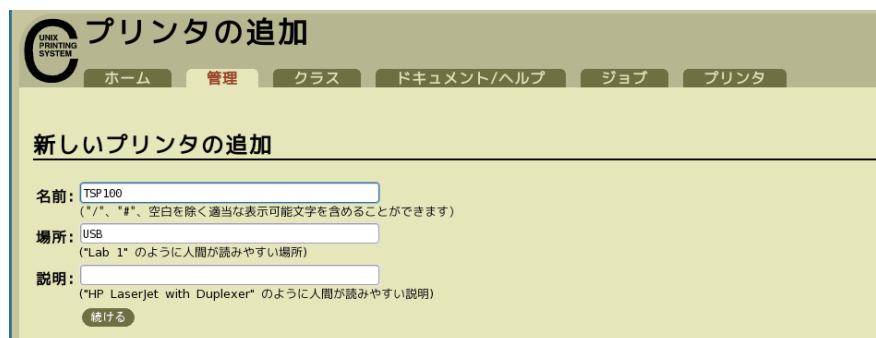
プリンターの登録はご使用のインターフェイスによって手順が異なりますので、ご使用の環境に合った項をご参照ください。

1.2.1 USB・パラレルインターフェイスをご使用の場合

- ① Web ブラウザで CUPS 管理画面 (<http://localhost:631/admin>) にアクセスします。



- ② “プリンタの追加” (Add Printer) をクリックします。
注記：認証を求めるダイアログが表示された場合は、root のパスワードを入力し [はい] を押してください。
- ③ プリンタの追加画面で、名前 (Name)、場所 (Location)、説明 (Description) の項目を入力し、“続ける” (Continue) をクリックします。
場所 (Location) と説明 (Description) の項目は未入力でも構いません。



- ④ 使用するプリンターが接続されているデバイス (インターフェイス) を選択し、“続ける” (Continue) をクリックします。



注記 1：TSP143IIU の場合は、Star TSP100 Cutter を選択してください。

注記 2：TSP650II の場合は、Star TSP650 Cutter を選択してください。

注記 3：パラレルインターフェイスの場合は、デバイスのプルダウンメニュー上に Star のモデル名が表示しない場合があります。その場合は以下の作業をしてください。

- 1) デバイス：LPT #1 (Unknown) を選択し、“続ける”を (Continue) クリック。
- 2) モデル/ドライバの画面で、“プリンタの追加” (Add Printer) をクリック。
- 3) メーカー：STAR を選択し、“続ける” (Continue) をクリック。

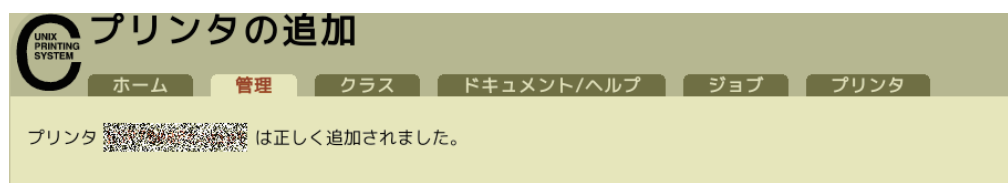
- ⑤ プリンターのモデル/ドライバを選択し、“プリンタの追加” (Add Printer) をクリックします。



注記：CUPS のバージョンによっては、モデル/ドライバのプルダウンメニュー上に Star のモデル名が表示しない場合があります。その場合は、ターミナルから以下のコマンドによるフォルダのコピーを実行後、前ページに戻り、再度プリンターの登録を行なってください。

```
$ su
# cp -fr /usr/share/cups/model/star /usr/share/ppd/star
```

以上でプリンターのインストールとプリンターの登録が完了しました。



1.2.2 イーサネットインターフェイスをご使用の場合

- ① Web ブラウザで CUPS 管理画面 (<http://localhost:631/admin>) にアクセスします。



- ② “プリンタの追加” (Add Printer) をクリックします。

注記：認証を求めるダイアログが表示された場合は、root のパスワードを入力し [はい] を押してください。

- ③ プリンタの追加画面で、名前 (Name)、場所 (Location)、説明 (Description) の項目を入力して、“続ける” (Continue) をクリックします。

場所 (Location) と説明 (Description) の項目は未入力でも構いません。

- ④ 使用するプリンターが接続されているデバイス（LPD/LPR HOST or Printer）を選択し、
“続ける”（Continue）をクリックします。



- ⑤ プリンターデバイスを URI で指定します。
LPD プロトコルの場合は、以下の URI を指定します。
lpd://<hostname>/<queue-name>

ホスト名は、設定するプリンターの IP アドレス（自己印字にて確認）です。
入力後、“続ける”（Continue）をクリックします。



メモ 9100 番ポートを使用する場合は、以下の内容で設定を行います。

デバイス : AppSocket/HP Jet Direct
デバイス URI : [設定するプリンターの IP アドレス] : 9100
例 socket://192.168.32.228 : 9100

- ⑥ プリンターのメーカー名：Star を選択し、“続ける”（Continue）をクリックします。



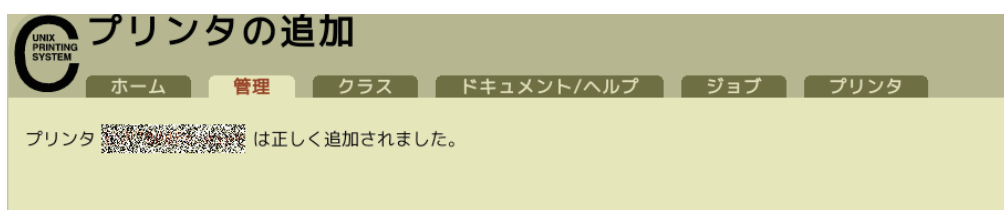
- ⑦ プリンターのモデル/ドライバを選択し、“プリンタの追加”（Add Printer）をクリックします。




注記：CUPS のバージョンによっては、モデル/ドライバのプルダウンメニュー上に Star のモデル名が表示しない場合があります。その場合は、ターミナルから以下のコマンドによるフォルダのコピーを実行後、前ページに戻り、再度プリンターの登録を行なってください。

```
$ su
# cp -fr /usr/share/cups/model/star /usr/share/ppd/star
```

以上でプリンターのインストールとプリンターの登録が完了しました。



1.2.3 Bluetooth インターフェイスをご使用の場合

- ① 以下の手順で Bluetooth プリンターとペアリングを行ってください。
 1. プリンターの電源を ON してください。
 2. Bluetooth カードのボタンを 10 秒以上押し続け、プリンターをペアリングモードにしてください。
 3. Bluetooth アイコン  をクリックし「新規デバイスのセットアップ”(Set up new device…)」を選択し「進む”(Forward)」をクリックしてください。プリンターを検索します。
 4. 検索画面に表示されているプリンターを選択し、「進む (Forward)」をクリックしてください。ペアリングされます。ペアリングが成功しない場合は、再度ペアリングを行ってください。

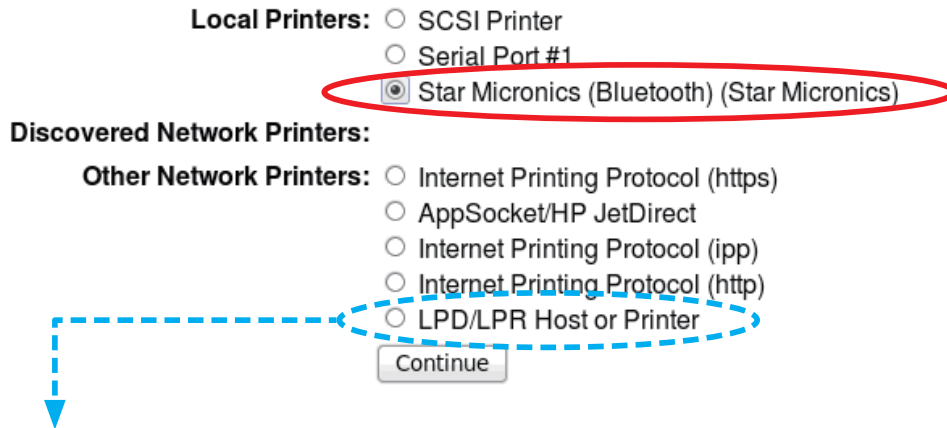
- ② Web ブラウザで CUPS 管理画面 (<http://localhost:631/admin>) にアクセスします。



- ③ “プリンタの追加” (Add Printer) をクリックします。
 注記：認証を求めるダイアログが表示された場合は、root のパスワードを入力し [はい] を押してください。

- ④ 使用するプリンターが接続されているデバイス (Bluetooth) を選択し、“続ける” (Continue) をクリックします。

Add Printer



【Bluetooth が表示されない場合】

- (1) “LPD/LPR Host or Printer” を選択し、“続ける” (Continue) をクリックします。
- (2) プリンターデバイスの URI (以下) を指定して、“続ける” (Continue) をクリックします。

bluetooth://<<Bluetooth MacAddress>>

Add Printer

Connection: bluetooth://0012F31BD804

Examples:

```
http://hostname:631/ipp/  
http://hostname:631/ipp/port1
```

```
ipp://hostname/ipp/  
ipp://hostname/ipp/port1
```

```
lpd://hostname/queue
```

```
socket://hostname  
socket://hostname:9100
```

See "Network Printers" for the correct URI to use with your printer.

Continue

- ⑤ プリンターの追加画面で、名前 (Name)、場所 (Location)、説明 (Description) の項目を入力して、“続ける” (Continue) をクリックします。
場所 (Location) と説明 (Description) の項目は未入力でも構いません。

Add Printer

Name:
(May contain any printable characters except "/", "#", and space)

Description:
(Human-readable description such as "HP LaserJet with Duplexer")

Location:
(Human-readable location such as "Lab 1")

Connection: bluetooth://0012F3196934

Sharing: Share This Printer

- ⑥ プリンターのメーカー名：Star を選択し、“続ける” (Continue) をクリックします。

Add Printer

Name: TSP650II

Description: Star_Micronics

Location:

Connection: bluetooth://0012F3196939

Sharing: Do Not Share This Printer

Make:

- ⑦ 使用するプリンターが接続されているデバイス (Bluetooth) を選択し、“続ける” (Continue) をクリックします。

Add Printer

Local Printers: SCSI Printer
 Serial Port #1
 Star Micronics (Bluetooth) (Star Micronics)

Discovered Network Printers:

Other Network Printers: Internet Printing Protocol (https)
 AppSocket/HP JetDirect
 Internet Printing Protocol (ipp)
 Internet Printing Protocol (http)
 LPD/LPR Host or Printer

- ⑧ プリンターのモデルを選択し、“プリンタの追加” (Add Printer) をクリックします。

Name: Star_Micronics
Description: Star Micronics
Location:
Connection: bluetooth://0012F3196934
Sharing: Do Not Share This Printer
Make: STAR

Model:
Star TSP100 Cutter (en)
Star TSP100 Tear Bar (en)
Star TSP100GT Cutter (en)
Star TSP100GT Tear Bar (en)
Star TSP650 Tear Bar (en)
Star TSP700II (en)
Star TSP800II (en)
Star TSP828L (en)

Or Provide a PPD File:

- ⑨ "Policies" (ポリシー) を選択して、"Error Policy:" (エラーポリシー) を「retry-current-job」に設定します。

Set Default Options for Star_Micronics

General **Output Options** **Cut Options** **Cash Drawer Control** **Buzzer 1**
Control **Buzzer 2 Control** **Data Treatment Recover From Error** **Banners**
Policies

Policies

Error Policy:

Operation Policy:

以上でプリンターのインストールとプリンターの登録が完了しました。

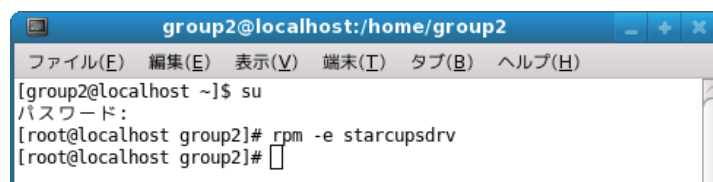
1.3 アンインストール

以下の手順に従って、ドライバをアンインストールしてください。

- ① Web ブラウザで CUPS 管理画面 (<http://localhost:631/printers>) にアクセスします。
“プリンタの削除” ボタンをクリックして、登録されているプリンターを削除します。



- ② コマンド入力をするため、ターミナル・ウィンドウを開きます。
- ③ su コマンドを使用して、一時的に管理者権限になってください。
\$ su
- ④ rpm コマンド (オプション -e 指定) を実行してパッケージをアンインストールします。
rpm -e starcupsdrv



◆ Debian GNU/Linux, ubuntu でのアンインストール手順

```
$ cd "ソースコードの最上位ディレクトリのパス"
$ su -
# make remove
```

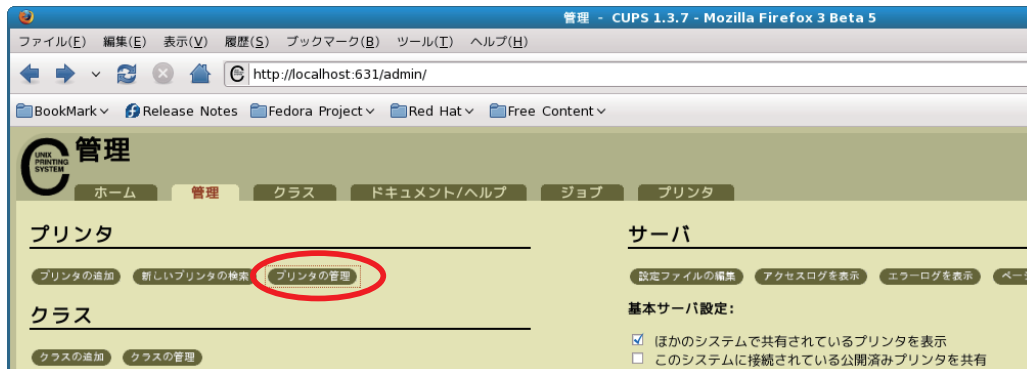
5 ページまたは 8 ページのフォルダのコピーを行なった場合は、以下のコマンドによりフォルダの削除を行ってください。

```
# rm -fr /usr/share/ppd/star
```

2. プリンター機能の設定

プリンター機能の設定は、Web ブラウザの CUPS 管理画面で行います。

- ① Web ブラウザで CUPS 管理画面 (<http://localhost:631/admin>) にアクセスしてください。
“プリンタの管理” ボタンをクリックします。



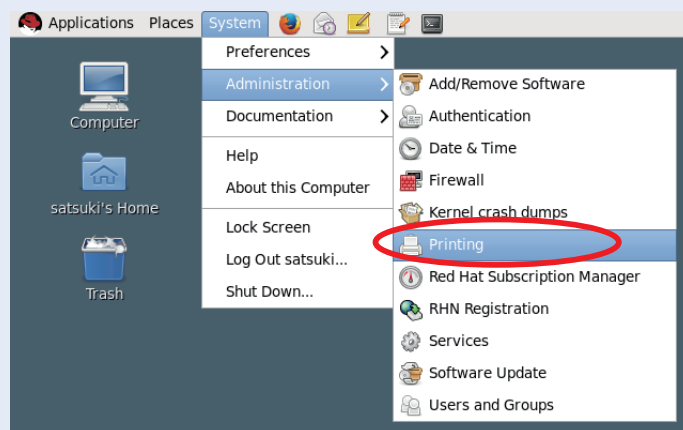
- ② 既に追加したプリンターキューが登録されているので、設定を変更したい“プリンタオプションの設定”をクリックします。



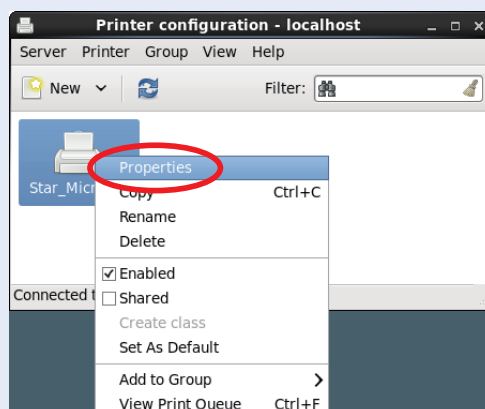
【CUPS 管理画面にデバイス設定の項目が表示されない場合】

Red Hat 6.6 や CentOS 6.6 などの OS では、CUPS 管理画面にデバイス設定の項目が表示されません。
プリンター機能の設定は以下の手順で行ってください。

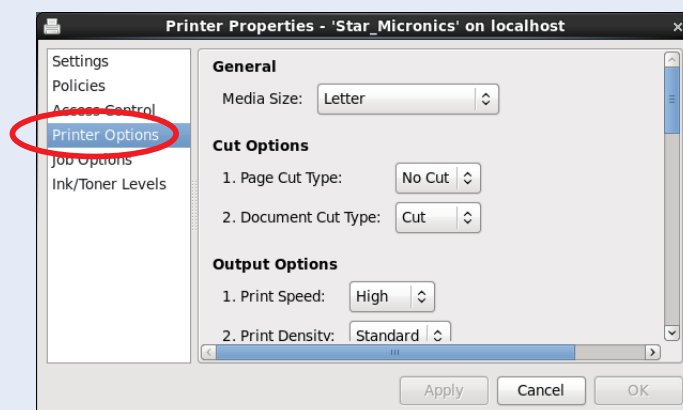
(1) System - Administration - Printing を開きます。



(2) 設定を行うプリンタキューを右クリックして、プルダウンメニューより [Properties] をクリックします。



(3) メニューより [Printer Options] を選択すると、デバイスの設定項目が表示されます。
プリンター機能の設定を行ってください。



2.1 機能一覧

選択するプリンターによって表示される機能は異なり、表示される機能のみ設定することができます。

■ General

1. Media Size: (用紙サイズ)

次の表にて示す用紙サイズがあらかじめ用意されており、設定が可能です。

Point! 最大印字幅を超える用紙サイズを選択した場合は、最大印字幅に合わせて縮小し、印字します。

用紙サイズ	対応機種											
	TSP 143IIU	TSP 113U	TSP 143U	TSP 113GT	TSP 143GT	TSP 113LAN	TSP 143LAN	TSP 651/654	TSP 654II	TSP 700II	TSP 800II	TSP 1000
50.8 * 30mm	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
50.8 * 40mm	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮		
50.8 * 190mm	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
50.8 * 200mm	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
50.8 * 1500mm									○	○		
50.8 * 2000mm	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
52 * 30mm										○		
52 * 40mm										○		
⋮										⋮		
52 * 190mm										○		
52 * 200mm										○		
52 * 1500mm										○		
52 * 2000mm										○		
52.5 * 30mm										○		
52.5 * 40mm										○		
⋮										⋮		
52.5 * 190mm										○		
52.5 * 200mm										○		
52.5 * 1500mm										○		
52.5 * 2000mm										○		
72 * 30mm	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○
72 * 40mm	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮		⋮
72 * 190mm	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○
72 * 200mm	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○		○
72 * 1500mm									○	○		
72 * 2000mm	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○
80 * 30mm										○		○
80 * 40mm										○		○
⋮										⋮		⋮
80 * 190mm										○		○
80 * 200mm										●		●
80 * 1500mm										○		
80 * 2000mm										○		○

用紙サイズ	対応機種											
	TSP 143IIU	TSP 113U	TSP 143U	TSP 113GT	TSP 143GT	TSP 113LAN	TSP 143LAN	TSP 651	TSP 654/654II	TSP 700II	TSP 800II	TSP 1000
104 * 30mm											○	
104 * 40mm											○	
⋮											⋮	
104 * 190mm											○	
104 * 200mm											●	
104 * 1500mm											○	
104 * 2000mm											○	
A4	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
Letter	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
Legal	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※ ●はデフォルト設定値です。
 使用するアプリケーションによっては機能しない場合があります。

■ Output Options

• Print Speed: (印字速度)

印字速度を設定します。印字速度の設定によって印字品質も変わります。

設定値	初期値	詳細
High	<input type="radio"/>	印字品質よりも印字速度を優先します。
Middle		印字品質も印字速度も中間的な設定です。
Low		最高の印字品質を得られますが、印字速度は遅くなります。

• Print Density: (印字濃度の設定)

印字濃度を設定します。

設定値	初期値	詳細
-3 ~ -1		- (マイナス) の数値が大きいほど印字が薄くなります。
Standard	<input type="radio"/>	通常の濃度で印字します。
+1 ~ +3		+ (プラス) の数値が大きいほど印字が濃くなります。

Point! TSP650・TSP650II シリーズのみ対応

• Page Type: (ページタイプの設定)

ページタイプを設定します。

設定値	初期値	詳細
Variable Length	<input type="radio"/>	可変長制御: ページ終端までの余白データは出力しません。最後のデータが印刷された後にレシートが終了します。
Fixed Length		固定長制御: ページ終端までの余白データを余白として出力します。用紙サイズで指定した長さの印字後にレシートが終了します。

• Top Search: (頭出し機能の設定)

印刷前に行なう用紙の逆送り動作を設定します。

設定値	初期値	詳細
Disable	<input type="radio"/>	印刷前の用紙の逆送り動作を行ないません。
Enable		印刷前に用紙を逆送りして上余白を小さくします。

Point! TSP700II シリーズ・TSP800II シリーズ・TSP1000 のみ対応

注記: 「Page Cut Type」または「Document Cut Type」が "Full Cut" に設定されている場合のみ有効です。"Partial Cut" の設定では使用できません。

■ Cut Options (Cutter モデル)

- **Page Cut Type** : (ページカット動作の設定)

最後のページを除いた全てのページの終わりに実行されるカット動作を設定します。

設定値	初期値	詳細
No Cut	○	カットおよび用紙送りの動作を行いません。
Partial Cut		カット位置まで用紙を送った後、中央を1点残しカットします。
Full Cut ※ 1		カット位置まで用紙を送った後、フルカットします。

※ 1 モデルによっては対応していません。

- **Document Cut Type** : (文書カット動作の設定)

最後のページに実行されるカット動作を設定します。

設定値	初期値	詳細
No Cut		カットおよび用紙送りの動作を行いません。
Partial Cut	○※ 2	カット位置まで用紙を送った後、中央を1点残しカットします。
Full Cut ※ 1		カット位置まで用紙を送った後、フルカットします。

※ 1 モデルによっては対応していません。

※ 2 TSP1000 の初期値は "Full Cut" です。

■ Feed Options (TearBar モデル)

- **Page Feed Type** : (ページ用紙送り動作の設定)

最後のページを除いた全てのページの終わりに実行される用紙送り動作を設定します。

設定値	初期値	詳細
No Feed	○	用紙送りの動作を行いません。
Tear Bar		Tear Bar (カット位置) まで用紙を送ります。

- **Document Feed Type** : (文書ページ送り動作の設定)

最後のページに実行される用紙送り動作を設定します。

設定値	初期値	詳細
No Feed		用紙送りの動作を行いません。
Tear Bar	○	Tear Bar (カット位置) まで用紙を送ります。

■ Data Treatment Recover From Error

- **Data Treatment Recover From Error** : (エラー復帰時のデータの扱い設定)

エラー発生時の、送信済みの印字データを処理する方法を設定します。

設定値	初期値	詳細
No Use		エラー復帰後に残りのデータを続けて印刷します。
Clear Data By Document Unit	○	エラー復帰後に残りのデータをクリアします。

Point! TSP650・TSP650II・TSP700II・TSP800II シリーズのみ対応

注記（TSP650・TSP700IIのみ）：

この機能は古い F/W（ファームウェア）では正常に動作しません。Ver3.0 以前の F/W をご使用の場合は、'No Use' を選択してください。

F/W のバージョンはプリンターを自己印字することでご確認いただけます。また、F/W のバージョンアップについては、ご購入先にお問い合わせください。

■ Cash Drawer Control

• Cash Drawer：（キャッシュドロワの動作設定）

キャッシュドロワの動作を設定します。

設定値	初期値	詳細
Do Not Open Drawers	○	キャッシュドロワを駆動しません。
Open Drawer 1		キャッシュドロワ 1 を印刷直後に駆動します。
Open Drawer 2		キャッシュドロワ 2 を印刷直後に駆動します。
Open Drawer 1 and 2		キャッシュドロワ 1 と 2 を印刷直後に駆動します。

• Cash Drawer 1 Pulse Width：（パルス幅の設定）

キャッシュドロワのパルス幅を設定します。

設定値	初期値	詳細
10 milliseconds		パルス幅を 0.01 秒に設定します。
100 milliseconds		パルス幅を 0.1 秒に設定します。
200 milliseconds	○	パルス幅を 0.2 秒に設定します。
300 milliseconds		パルス幅を 0.3 秒に設定します。
400 milliseconds		パルス幅を 0.4 秒に設定します。
500 milliseconds		パルス幅を 0.5 秒に設定します。
600 milliseconds		パルス幅を 0.6 秒に設定します。
700 milliseconds		パルス幅を 0.7 秒に設定します。
800 milliseconds		パルス幅を 0.8 秒に設定します。
900 milliseconds		パルス幅を 0.9 秒に設定します。
1000 milliseconds		パルス幅を 1.0 秒に設定します。
1100 milliseconds		パルス幅を 1.1 秒に設定します。
1200 milliseconds		パルス幅を 1.2 秒に設定します。

注記：1) キャッシュドロワとブザーの設定は同時に有効にしないでください。

2) キャッシュドロワ 2 は、パルス幅が 200 milliseconds で固定ですので変更できません。

■ Buzzer 1 Control および Buzzer 2 Control (TSP650/650II series)

- **Buzzer 1 (Buzzer 2) :** (ブザー 1 (またはブザー 2) の動作設定)
ブザー 1 (またはブザー 2) の動作を設定します。

設定値	初期値	詳細
No Use	○	ブザー 1 (またはブザー 2) を駆動しません。
Document Top		ブザー 1 (またはブザー 2) は文書の先頭で動作を実行します。
Document Bottom		ブザー 1 (またはブザー 2) は文書の終端で動作を実行します。

注意：外部機器にブザー以外の機器（キャッシュドロワ等）を使用する場合には、'No Use' を選択してください。間違った設定を行った場合、外部機器本体が破壊する恐れがあります。

- **Buzzer 1 (Buzzer 2) - On Time :** (ブザー 1 (またはブザー 2) の鳴動時間)
ブザー 1 (またはブザー 2) の鳴動時間を設定します。

設定値	初期値	詳細
20 milliseconds	○	0.02 秒に設定します。
40 milliseconds		0.04 秒に設定します。
100 milliseconds		0.1 秒に設定します。
200 milliseconds		0.2 秒に設定します。
500 milliseconds		0.5 秒に設定します。
1000 milliseconds		1.0 秒に設定します。
2000 milliseconds		2.0 秒に設定します。
5000 milliseconds		5.0 秒に設定します。

- **Buzzer 1 (Buzzer 2) - Off Time :** (ブザー 1 (またはブザー 2) の休止時間)
ブザー 1 (またはブザー 2) の休止時間を設定します。

設定値	初期値	詳細
20 milliseconds	○	0.02 秒に設定します。
40 milliseconds		0.04 秒に設定します。
100 milliseconds		0.1 秒に設定します。
200 milliseconds		0.2 秒に設定します。
500 milliseconds		0.5 秒に設定します。
1000 milliseconds		1.0 秒に設定します。
2000 milliseconds		2.0 秒に設定します。
5000 milliseconds		5.0 秒に設定します。

• Buzzer 1 (Buzzer 2) - Repeat: (ブザー 1 (またはブザー 2) の鳴動回数)

ブザー 1 (またはブザー 2) を設定した鳴動時間・休止時間で繰り返して駆動する回数を設定します。設定した鳴動回数に関わらず、“FEED” ボタンを押すことでブザーは止まります。

設定値	初期値	詳細
1	○	ブザー 1 (またはブザー 2) を 1 回鳴らします。
2		ブザー 1 (またはブザー 2) を 2 回鳴らします。
3		ブザー 1 (またはブザー 2) を 3 回鳴らします。
5		ブザー 1 (またはブザー 2) を 5 回鳴らします。
10		ブザー 1 (またはブザー 2) を 10 回鳴らします。
15		ブザー 1 (またはブザー 2) を 15 回鳴らします。
20		ブザー 1 (またはブザー 2) を 20 回鳴らします。

注記：1) キャッシュドロウとブザーの設定は同時に有効にしないでください。
2) ブザーの鳴動および休止時間がトータルして 90 秒を超えないようにしてください。

■ Peripheral Control (TSP1000)

1. Peripheral: (外部機器の動作設定)

外部機器の動作を設定します。

設定値	初期値	詳細
Do Not Activate	○	外部機器を駆動しません。
Activate		外部機器を駆動します。

2. Peripheral Activation Pulse Width: (パルス幅の設定)

外部機器のパルス幅を設定します。

設定値	初期値	詳細
20 milliseconds		パルス幅を 0.02 秒に設定します。
100 milliseconds		パルス幅を 0.1 秒に設定します。
200 milliseconds	○	パルス幅を 0.2 秒に設定します。
300 milliseconds		パルス幅を 0.3 秒に設定します。
400 milliseconds		パルス幅を 0.4 秒に設定します。
500 milliseconds		パルス幅を 0.5 秒に設定します。
600 milliseconds		パルス幅を 0.6 秒に設定します。
700 milliseconds		パルス幅を 0.7 秒に設定します。
800 milliseconds		パルス幅を 0.8 秒に設定します。
900 milliseconds		パルス幅を 0.9 秒に設定します。
1000 milliseconds		パルス幅を 1.0 秒に設定します。
1100 milliseconds		パルス幅を 1.1 秒に設定します。
1200 milliseconds		パルス幅を 1.2 秒に設定します。

3. イーサネット環境を使用する際のガイドライン

このドライバを使用して、LAN 対応のプリンターをご使用いただくには、あらかじめプリンターへの IP アドレスの設定が必要となります。ご使用の LAN 環境において、DHCP サーバーからの IP アドレスの取得が行えない場合には、事前にプリンターへの IP アドレスの設定を行ってください。

3.1 仮 IP アドレス設定

以下の手順で、プリンターに対して仮 IP アドレスを設定することができます。仮 IP アドレスを設定することにより、IP アドレスの設定されていないプリンターへの接続が行えるようになります。

注記：プリンターの設定は管理者権限を持つユーザーで行ってください。

メモ 仮 IP アドレスの設定には、設定を行うプリンターの MAC アドレスが必要です。MAC アドレスはプリンターを自己印字させることで確認することができます。自己印字に関して詳しくはハードウェアマニュアルをご参照ください。

① コマンド入力をするため、ターミナル・ウィンドウを開いてください。

② su - コマンドを使用して、一時的に管理者権限になってください。

```
$ su -
```



③ ターミナルで以下のコマンドを実行することにより、プリンターに仮 IP アドレスを設定してください。

1. arp -d [プリンター仮 IP アドレス]
2. arp -s [プリンター仮 IP アドレス] [プリンター MAC アドレス]
3. ping -c 4 [プリンター仮 IP アドレス]
4. arp -d [プリンター仮 IP アドレス]

具体例：仮 IP アドレス (192.168.32.228) を設定する場合

```
arp -d 192.168.32.228
arp -s 192.168.32.228 00:11:62:04:83:98
ping -c 4 192.168.32.228
arp -d 192.168.32.228
```

注記：Ubuntu を使用している場合は、su - コマンドの入力は不要ですが、arp コマンドの代わりに sudo arp コマンドを入力してください。

ここで設定を行う "仮 IP アドレス" は、プリンターの電源を切るとクリアされます。ひきつづき IP アドレスの設定作業を行ってください。

管理者ユーザーから一般ユーザーに戻るには exit コマンドを実行してください。

3.2 IP アドレス設定 << TELNET Utility >>

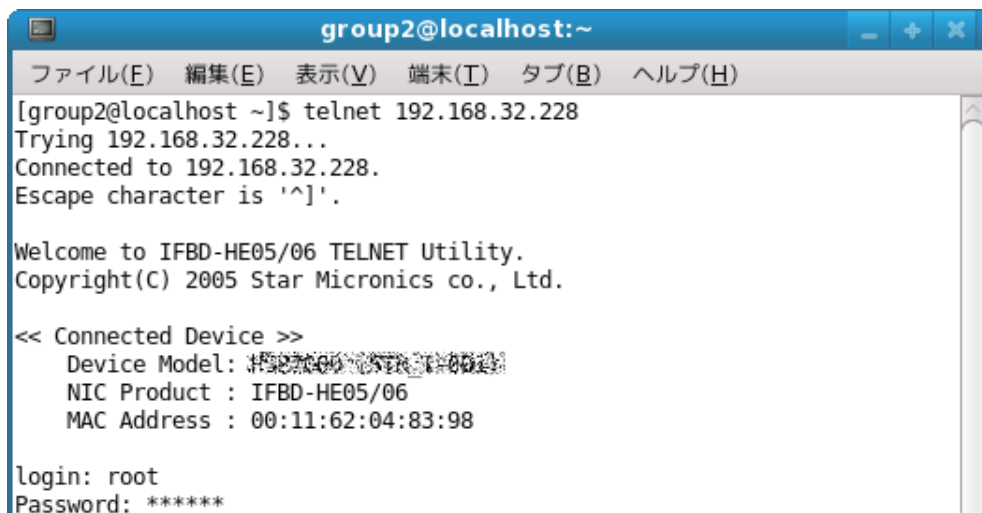
Telnet コマンドにより、直接プリンターに接続して設定を行います。

- ① コマンド入力をするため、ターミナル・ウィンドウを開いてください。
- ② Telnet コマンドにより、設定を行うプリンターに接続します。

例： > telnet 192.168.32.228
↓
設定を行うプリンターの IP アドレス

注記：IP アドレスが設定されていないプリンターには、接続が行えません。
「3.1 仮 IP アドレス設定」をご参照の上、あらかじめ仮 IP アドレスの設定を行ってください。

- ③ 設定を行うプリンターに "root" ユーザでログインします。
工場出荷時のパスワードは "public" です。
パスワードの変更を行った場合には、変更したパスワードを入力してください。

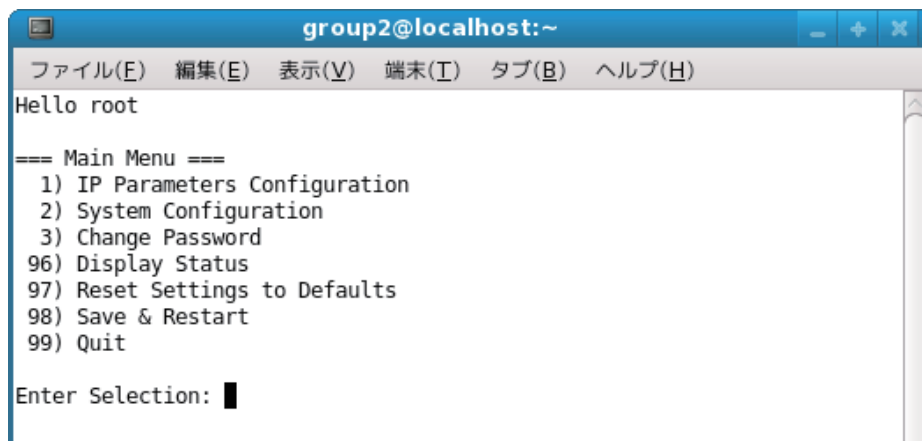


```
group2@localhost:~  
ファイル(E) 編集(E) 表示(V) 端末(T) タブ(B) ヘルプ(H)  
[group2@localhost ~]$ telnet 192.168.32.228  
Trying 192.168.32.228...  
Connected to 192.168.32.228.  
Escape character is '^]'.  
  
Welcome to IFBD-HE05/06 TELNET Utility.  
Copyright(C) 2005 Star Micronics co., Ltd.  
  
<< Connected Device >>  
Device Model: #527405 Star HE05  
NIC Product : IFBD-HE05/06  
MAC Address : 00:11:62:04:83:98  
  
login: root  
Password: *****
```

- ④ 表示されるのは以下のメニューです。
 - 1) IP Parameters Configuration
 - 2) System Configuration
 - 3) Change Password
 - 96) Display Status
 - 97) Reset Settings to Defaults
 - 98) Save & Restart
 - 99) Quit

Enter Selection:

処理したい内容に合わせて番号を入力します。



```
group2@localhost:~  
ファイル(E) 編集(E) 表示(V) 端末(T) タブ(B) ヘルプ(H)  
Hello root  
=== Main Menu ===  
 1) IP Parameters Configuration  
 2) System Configuration  
 3) Change Password  
96) Display Status  
97) Reset Settings to Defaults  
98) Save & Restart  
99) Quit  
Enter Selection: █
```

- ⑤ すべての設定が終わったら "98(Save & Restart)" - "1(Save & Restart device & Configuration printing)" または "2(Save & Restart device)" で、設定内容の保存を行ってください。プリンターに設定内容を保存した後、プリンターのリセットがかかります。

4. lpr コマンドで使用する際のガイドライン

コマンドラインより lpr コマンドにて印刷を行う際には、以下のフォーマットにてオプションを指定することができます。

```
$ lpr -o [option]=[value] -o [option]=[value] ... [Filename]
```

[option]・[value] には、「4.1 機能対応一覧」より " コマンド指定名称 " に示した名称にて指定します。また、指定がないオプションについては、ドライバのデフォルト設定にて印刷を行います。

Point! オプション "-P" にてプリンター名を指定する場合は、"lpstat -p" コマンドにて確認したプリンター名を指定してください。

【使用例 1】

プリンター名： TSP100
印刷ファイル： sample1.txt
用紙サイズ※： 50.8 * 200mm
余白（上）※： 0mm
余白（下）※： 0mm
余白（左）※： 0mm
余白（右）※： 0mm

※このオプションは、プリンタードライバオプションではなく、OS 標準のオプションです。

```
$ lpr -P TSP100 -o media="X50D8MMY200MM"  
-o page-top=0 -o page-bottom=0 -o page-left=0  
-o page-right=0 sample1.txt
```

【使用例 2】

印刷ファイル： sample2.txt
Print Speed： Low

```
$ lpr -o PrintSpeed=2Low sample2.txt
```

【使用例 3】

印刷ファイル： sample3.txt
Document Cut Type： No Cut

```
$ lpr -o DocCutType=0NoCutDoc sample3.txt
```

4.1 機能対応一覧

各機能の内容については「2.1 機能一覧」をご参照ください。

	機能名 (ドライバ表示)		コマンド指定名称		対応機種													
	option	value	[option]	[value]	TSP 143 IU	TSP 113 U	TSP 143 U	TSP 113 GT	TSP 143 GT	TSP 113 LAN	TSP 143 LAN	TSP 651	TSP 654 654II	TSP 700II	TSP 800II	TSP 1000		
Output Option	Print Speed	High	PrintSpeed	0High	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
		Middle		1Middle	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		Low		2Low	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	Print Density	-3	PrintDensity	0Minus3									○	○				
		-2		1Minus2									○	○				
		-1		2Minus1									○	○				
		Standard		3ZERO									●	●				
		+1		4Plus1									○	○				
		+2		5Plus2									○	○				
		+3		6Plus3									○	○				
	Page Type	Variable Length	PageType	0Variable	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
		Fixed Length		1Fixed	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
Top Search	Disable	TopSearch	0Disable											●	●	●		
	Enable		1Enable											○	○	○		
Cut Options (Cutter)	Page Cut Type	No Cut	PageCutType	0NoCutPage	●		●		●		●		●	●	●	●		
		Partial Cut		1PartialCutPage	○		○		○		○		○	○	○			
		Full Cut		2FullCutPage											○	○	○	
	Document Cut Type	No Cut	DocCutType	0NoCutDoc	○		○		○		○		○	○	○	○	○	
		Partial Cut		1PartialCutDoc	●		●		●		●		●	●	●			
		Full Cut		2FullCutDoc											○	○	●	
		Tear Bar		3TearBarDoc												○		
Feed Options (TearBar)	Page Feed Type	No Feed	PageCutType	0NoCutPage		●		●		●		●						
		Tear Bar		1TearBarPage		○		○		○		○						
	Document Feed Type	No Feed	DocCutType	0NoCutDoc		○		○		○		○						
		Tear Bar		1TearBarDoc		●		●		●		●						
Data Treatment Recover From Error	Data Treatment Recover From Error	No Use	DataTreatment RecoverFrom Error	0NoUse								○	○	○	○			
		Clear Data By Document Unit		1ClearDataBy Document Unit									●	●	●	●		
Cash Drawer Control	Cash Drawer	Do Not Open Drawers	CashDrawer Setting	0DoNotOpenDrawers	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
		Open Drawer 1		1OpenDrawer1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		Open Drawer 2		2OpenDrawer2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		Open Drawer 1 and 2		3OpenDrawer3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	Cash Drawer 1 Pulsh Width	10 milliseconds	CashDrawer1 PulseWidth	0Millis10	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		100 milliseconds		1Millis100	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		200 milliseconds		2Millis200	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
		300 milliseconds		3Millis300	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		400 milliseconds		4Millis400	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		500 milliseconds		5Millis500	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		600 milliseconds		6Millis600	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		700 milliseconds		7Millis700	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		800 milliseconds		8Millis800	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		900 milliseconds		9Millis900	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		1000 milliseconds		10Millis1000	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		1100 milliseconds		11Millis1100	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
1200 milliseconds	12Millis1200	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			

機能名 (ドライバ表示)		コマンド指定名称		対応機種													
				TSP 143 IU	TSP 113 U	TSP 143 U	TSP 113 GT	TSP 143 GT	TSP 113 LAN	TSP 143 LAN	TSP 651	TSP 654 654II	TSP 700II	TSP 800II	TSP 1000		
option	value	[option]	[value]														
Buzzer1 Control / Buzzer2 Control	Buzzer1 / Buzzer2	No Use	Buzzer1Setting / Buzzer2Setting	0NoUse								●	●	●			
		Document Top		1DocumentTop								○	○	○			
		Document Bottom		2DocumentBtm								○	○	○			
	Buzzer1 - On Time / Buzzer2 - On Time	20 milliseconds	Buzzer1OnTime / Buzzer2OnTime	0Millis20									●	●	●		
		40 milliseconds		1Millis40									○	○	○		
		100 milliseconds		2Millis100									○	○	○		
		200 milliseconds		3Millis200									○	○	○		
		500 milliseconds		4Millis500									○	○	○		
		1000 milliseconds		5Millis1000									○	○	○		
		2000 milliseconds		6Millis2000									○	○	○		
		5000 milliseconds		7Millis5000									○	○	○		
	Buzzer1 - Off Time / Buzzer2 - Off Time	20 milliseconds	Buzzer1OffTime / Buzzer2OffTime	0Millis20									●	●	●		
		40 milliseconds		1Millis40									○	○	○		
		100 milliseconds		2Millis100									○	○	○		
		200 milliseconds		3Millis200									○	○	○		
		500 milliseconds		4Millis500									○	○	○		
		1000 milliseconds		5Millis1000									○	○	○		
		2000 milliseconds		6Millis2000									○	○	○		
		5000 milliseconds		7Millis5000									○	○	○		
	Buzzer1 - Repeat / Buzzer2 - Repeat	1	Buzzer1Repeat / Buzzer2Repeat	0Repeat1									●	●	●		
		2		1Repeat2									○	○	○		
		3		2Repeat3									○	○	○		
		5		3Repeat5									○	○	○		
		10		4Repeat10									○	○	○		
15			5Repeat15									○	○	○			
20			6Repeat20									○	○	○			
Peripheral Control		Peripheral	Do Not Activate	PeripheralSetting	0DoNotActivate												●
	Activate			1Activate												○	
	Peripheral Activation Pulse Width	20 milliseconds	Peripheral Activation PulseWidth	0Millis20													○
		100 milliseconds		1Millis100													○
		200 milliseconds		2Millis200													●
		300 milliseconds		3Millis300													○
		400 milliseconds		4Millis400													○
		500 milliseconds		5Millis500													○
		600 milliseconds		6Millis600													○
		700 milliseconds		7Millis700													○
		800 milliseconds		8Millis800													○
		900 milliseconds		9Millis900													○
		1000 milliseconds		10Millis1000													○
		1100 milliseconds		11Millis1100													○
		1200 milliseconds		12Millis1200													○

※ ●はデフォルト設定値です。

5. 動作確認環境

Distribution	Version	
	USB, Parallel, Ethernet	Bluetooth モデル
Red Hat Enterprise Linuxb 32bit	6.6	6.6
CentOS 32bit	6.6	6.6
openSUSE 32bit	13.2*	13.1
Fedora 32bit	20*	17
ubuntu 32bit	14.04 LTS*	12.04 LTS

*Bluetooth 非対応

6. 改訂履歴

Rev. No.	改訂年月	内 容
Rev. 1.0	Jan. 2009	新規発行（starcupsdrv3.0 に対応）
Rev. 2.0	Mar. 2010	TSP143IIU 対応・誤記修正
Rev. 3.0	May. 2010	TSP800II 対応
Rev. 4.0	Sep. 2010	star cups driver 3.2.0 対応 Data Treatment Recover From Error・Buzzer コマンドの対応機種追加
Rev. 5.0	Dec. 2012	star cups driver 3.4.0 対応 TSP650II 対応
Rev. 6.0	Apr. 2014	star cups driver 3.4.2 対応 TSP700II / TSP800II Bluetooth インターフェイス対応
Rev. 7.0	Jan. 2015	star cups driver 3.5.0 対応 用紙サイズ 1500mm 追加



URL: <http://www.star-m.jp>

〒 424-0066 静岡県静岡市清水区七ツ新屋 536

電話 054-347-0112 (営業直通)